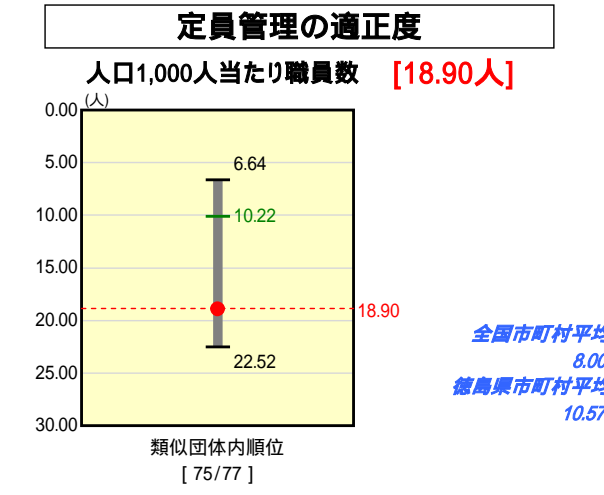
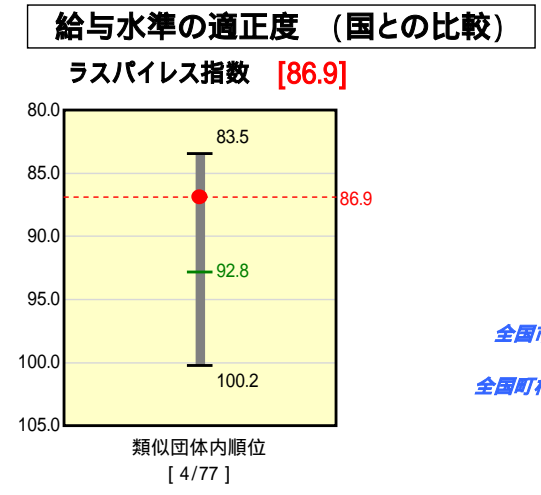
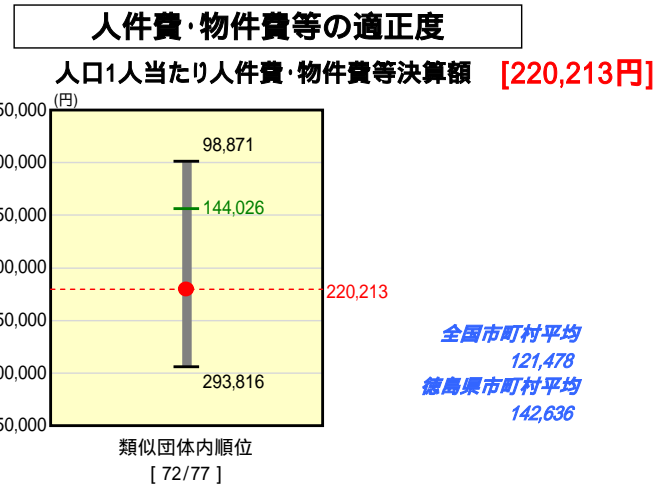
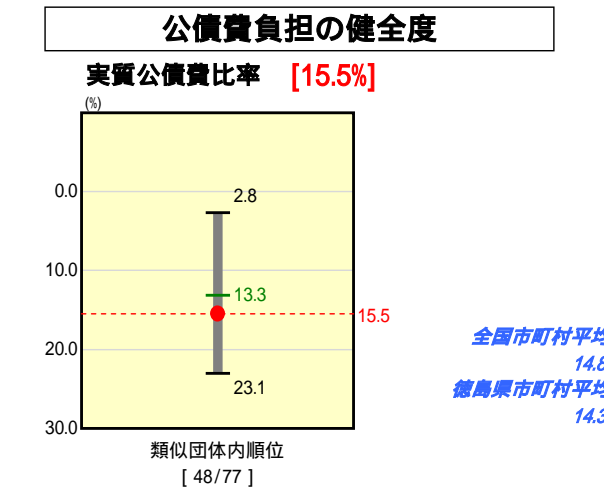
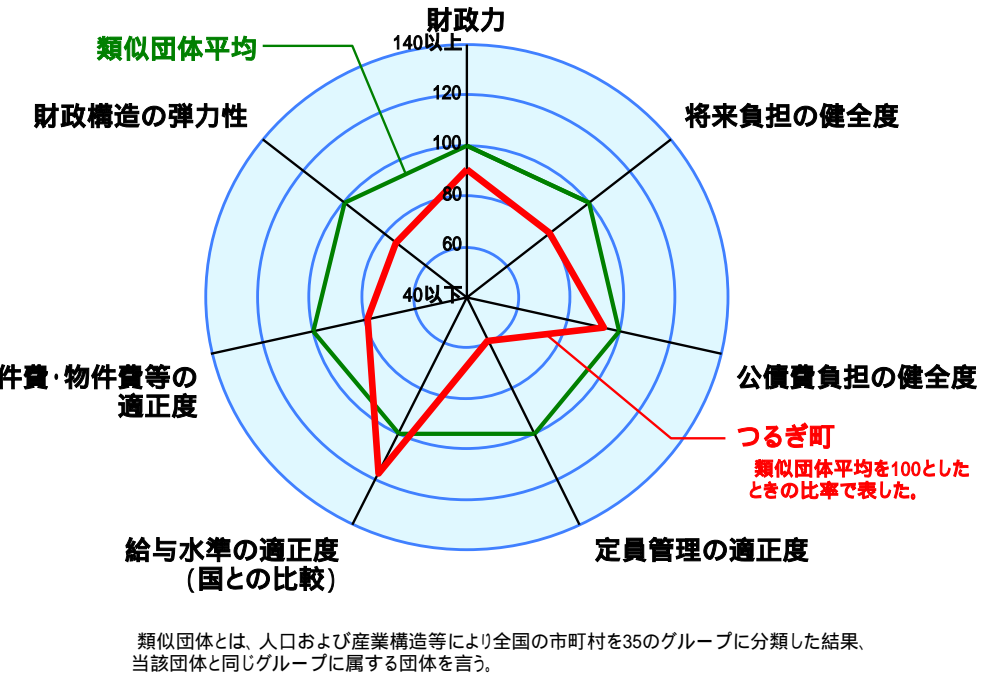
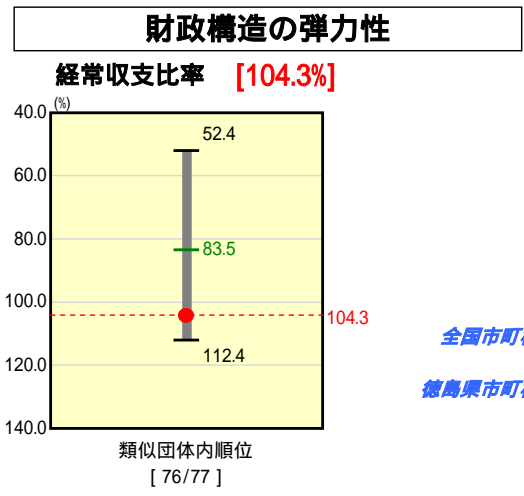
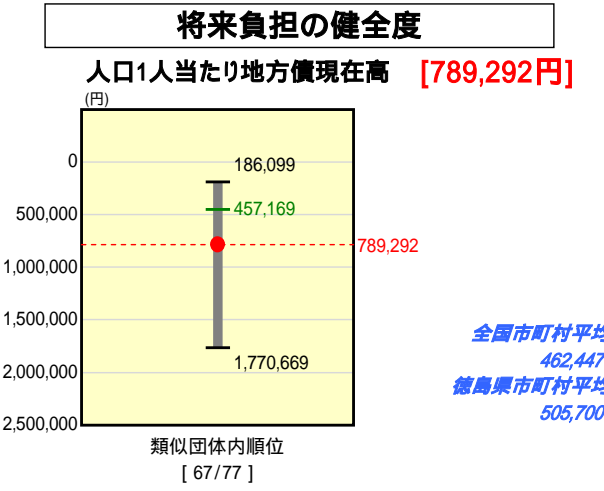
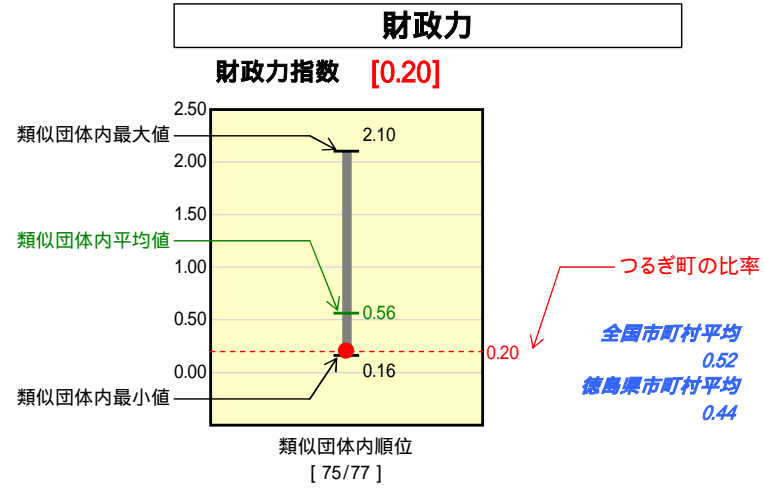


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

徳島県 つるぎ町

人口	12,276人	(H18.3.31現在)
面積	194.80	km ²
歳入総額	9,269,670	千円
歳出総額	9,035,485	千円
実質収支	138,066	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:
人口の減少や全国的に見ても高齢化が進む我が町は、財政基盤が脆く、類似平均を大きく下回る。早急に組織の見直し、集中改革プランに沿った施策の重点化に積極的に努め、活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化を目指し、財政の健全化を図る。

経常収支比率:
100%を超える高率を示しているため、平成18年度から職員の給与カット(特別職10~15%、職員5%、管理職手当1%、議会議員報酬10%カット)による人件費の削減及び物件費、補助費等経常経費の大幅な削減に努めている。今後も引き続き給与カットを継続し、事務事業の見直しを進め、90%以下を目標に更なる経常経費の削減に努める。

ラスバイス指数:
18年度からの給与カットの実施により、類似団体の中では、最低水準にある。今後は、各種手当の洗い出しを進め、特に特殊勤務手当については、廃止に向け検討中である。また、集中改革プランに基づき退職者5名に対し、1名新規採用等類似平均に近づけるよう積極的に検討する。

実質公債比率:
類似団体平均を若干上回っているが、今後緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業選択により、起債に大きく依存することのない財政運営に努める。

人口1,000人当たり職員数:
合併以前に旧町村で様々な行政需要に対応すべく職員を採用していたこと、また合併により職員数増加したため、類似団体平均を大きく上回っているのが現状である。集中改革プランに基づき平成17年4月1日から平成22年4月1日まで退職者5名に対し1名採用、平成21年までに現在の職員数より10%削減等、さらには、民間委託の推進等を積極的に推し進め、職員数の適正化を目指す。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
人件費、物件費の合計額が類似団体と比べ大きく上回っているのは、主に人件費が要因となっている。今後は、民間でも実施可能な部分については、指定管理者制度の導入等により委託化を進め、コスト低減を図っていく方針である。

人口1人当たり地方債現在高:
類似団体平均と比較すると大きく上回っているが、合併後は新規地方債発行の抑制により合併5年後までに類似団体水準に近づけるよう努める。